



妙高火打 放山(1189.5m)、空沢山
(1420.5m) (雪山ハイキング / 妙高・
戸隠・雨飾)

by
gekiyabu 

日程：

2012年05月13日(日帰り)

メンバー：

gekiyabu

天候：

快晴

地図：



WEB SERVICES BY YAHOO! JAPAN

標高グラフ：

コースタイム：

4:43 シャルマン火打スキー場入口--5:48 スキー場上端--6:31 放山--7:59 空沢山(休憩) 8:35--9:35 放山--10:04 スキー場上端--10:24 シャルマン火打スキー場入口

コース状況/その他周辺情報：

- ・登山口はシャルマン火打スキー場
- ・自宅に帰ってから知ったが、このルートは山スキーでよく滑られるようだ
- ・シャルマン火打スキー場の今シーズンの営業が終了し駐車場は閉鎖されていたため、車止め手前の路側に駐車
- ・登山ポストなし

- ・ 標高500mしかないのにゲレンデはまだ残雪たっぷり
- ・ スキー場上端から放山まで夏道あり。痩せた尾根で夏道が出ていた
- ・ 標高1020m小ピーク以降は空沢山まで(たぶん火打山まで)ずっと残雪が続く
- ・ 放山は立ち木が無い広大な雪原。雪から頭だけ出た傾いた山頂標識あり
- ・ 1150m峰近辺の東斜面の傾斜がきつい個所は雪棚が落ちてしまい残雪の西斜面を巻く
- ・ 空沢山へ登る尾根は複雑で、視界が無い時はルート取り困難。視界があれば問題なし
- ・ 空沢山三角点は藪の中だが発見できず。1430m峰がいちばん山頂らしい場所で見晴らしも良い
- ・ 放山～空沢山間も不完全ながら刈り払いの形跡があるが、全線にわたって整備されているか不明
- ・ 季節が進み雪は締まってワカン不要。早朝の冷えた時間帯のみゲレンデ内でアイゼン使用

📷 写真：



シャルマン火打スキー場入口。営業終了で車止めあり



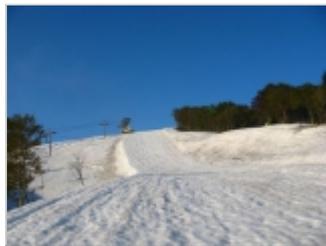
標高500～1000mなのにゲレンデは一面の残雪



ゲレンデ案内図



ゲレンデを登る



青空がきれい



スキー場上端



スキー場上端から見た焼山、火打山



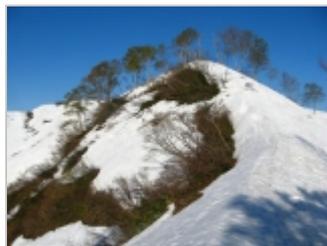
スキー場上端から放山まで尾根上に夏道あり



痩せ尾根が終わると夏道は雪の下



新緑のブナの中を登る



残雪たっぷり



北側には鉾ヶ岳



放山から見た青海黒姫山



放山山頂(三角点)とパノラマ展望



放山三角点の山頂標識



放山から見た海谷山塊



放山三角点から見た東の展望



空沢山を目指す



雪棚が落ちてしまった区間は西斜面を巻く



稜線に戻る



放山を振り返る



気持ちのいい雪稜が続く



いつも正面には火打山。表銀座の槍みたいな存在



空沢山への最後の登り



空沢山直下。東から登り上げるが雪庇の壁のため右に迂回して稜線に出る



昨日の新雪上に僅かに足跡が残る



稜線に出た



三角点より僅かに上がった場所から1430m峰を見る。前方の雪原で休憩



日本山名事典が空沢山山頂としている1430m峰



1430m峰から見た焼山、火打山



1430m峰から見た焼山拡大。僅かに湯気が出ている



1430m峰から見た海谷山塊



1430m峰から見た鉾ヶ岳



この藪の中に三角点があるはず



GPSが示した三角点の在りか。新雪に覆われたためか三角点は発見できなかった



下山開始



稜線の藪は根曲がり竹もある

放山が近づいてきた

この付近は僅かに刈り払った形跡あり



放山よりスキー場に向けて下る



大沼は雪の下



スキー場上端へ登る



スキー場上端



ゲレンデを下る



すれ違ったハイカー

感想／記録 : (by gekiyabu)

火打山北側にあるシャルマン火打スキー場から火打山に続く尾根上に放山、空沢山がある。登山道があるとは思えず残雪期しか登れないだろうし、登る人がいるとも思えない山だ。放山はスキー場から近いのでスキー場から往復する人は少なからずいるだろうが、その先は歩く人は少ないだろう。ただ、地形図を見る限りではなだらかな稜線が続き険しい地形はなく、傾斜も緩いので雪が残っている確率が高い。少なくとも大型連休中盤はまだ真っ白だったのは大毛無山付近で確認している。もし雪がなかったら笹ヶ峰に移動することにして現地を目指したが予想以上に残雪が多く、今シーズンの営業を終えたゲレンデはまだ真っ白であった。出発準備をしているとスキーヤーがやってきて準備を開始。たぶん放山までかな。スキー場駐車場入口は車止めがされ入れないので路側に駐車。

出発時は山に雲がかかってなだらかな稜線でガスっていたら下りが心配だったが、その場合はGPSに頼るか。気温は0℃、雪は凍って表面はツルツルで硬く締まっており、急斜面のゲレンデを登るにはアイゼンが必要な状況で最初から12本爪装着。グングン高度を上げると背後には鉾ヶ岳が低くなっていく。やがてゲレンデに日がさすようになるといつのまにか上空の雲は消えて真っ青な空が広がる快晴。帽子を持ってこなかったのは失敗だった。酷い日焼けになるのは確実で、顔、耳、首筋に日焼け止めを塗った。

ゲレンデ頂上リフト裏からアイゼンを脱いで尾根に突入。尾根直上は藪が出てしまい南側の雪棚を使ったが途中で崩落しているので藪の尾根に取り付く。ところが尾根上には刈り払われた明瞭な道が。途中には「大池」の標識があり明らかに整備された登山道

だった。まさか放山や空沢山まで続いているのか？ ネットで検索すると放山まで道があるとのことだった。ここで火打山や焼山が姿を現すがそこに続く尾根はずっと真っ白で、この標高でこの時期であり得ない光景だった。たぶん新潟、北陸では最も残雪が残っているエリアだろう。秋山郷でもこの時期はこんなに雪はない(もっと標高が高い苗場山近辺は十分な雪があるが)。これが標高1000mの光景とは驚きだ。

尾根が痩せた区間が終わる1020m峰を越えると夏道は雪に埋もれ、ブナが点在する残雪の尾根になる。雪面より4mくらいの高さに目印が続いていて、積雪期にスキー場から往復したスキーヤーのものだろう。気持ちのいい雪稜を登り、広大な平坦地を持つ放山三角点に到着。地形図では三角点位置が山頂のように読み取れるが、山名事典ではその先の1190m等高線ピークを山頂としている。傾いた山頂標識が雪面から頭だけ出していた。立ち木はなく大展望。このまま火打山まで足を伸ばしたくなるような光景だが、ここから標高差はまだ1300mもあるからなあ。でも縦走したくなる風景であった。

まだ体力的に問題ないのでこのまま空沢山へ向かう。山名事典の1190m峰を越えると東側の雪棚が崩壊して稜線の藪が露出しており、地形図を見て傾斜が緩い西斜面を巻くことにする。こちらはたつぷりと雪が付いたままで藪との格闘皆無で等高線に沿って進む。やがて稜線につながる雪の帯が出現、その先は稜線上にも雪が見られたので尾根に乗り移る。ちょうど1150m鞍部手前だった。

1194m峰を越えて1160m峰手前の稜線は雪棚にクラックが入っていたので東側を巻いた。1130m鞍部から登りにかかり、涼を求めて稜線西側のブナ林の日影を登った。標高1200mを越えると尾根が広がって帰りがいやらしい区間に入るが、今日のような快晴の天気で視界があれば全く問題なし。もちろん登りなら視界が無くてもあまり問題にならないが。空沢山から北に延びる明瞭な尾根は主稜線ではなく、山頂東側から合流するのが本当の主稜線だ。

空沢山北尾根に突き上げだすと頭上には巨大雪庇。そうか、東から攻めるとこうなるのか。尾根通しで直線的に行くと雪庇の雪壁に出してしまうので、雪壁基部を北にトラバースしてクレバスが消えて傾斜が緩くなったところで稜線に突き上げることにして右に迂回。無理すれば直線的に登れないほどの傾斜ではないが、アイゼン付けるのも面倒だし。

尾根に乗って僅かに登って傾斜が消えて肩に到着。ここが空沢山山頂。GPSの電源を入れると山頂を僅かに行き過ぎているようだが、三角点は斜面途中にあるようなので帰りに三角点探しすることにして休憩は平坦地で取ることに。空沢山山頂付近は2つの尾根が合流する地点であり、合流点は木が無い雪原で展望も良い。北西に延びる尾根の1430m峰に登って西側の展望も堪能。この尾根は低い灌木で藪は薄かった。山名事典

ではここを山頂としているのは自宅に帰ってから知った。目の前の焼山が大迫力。でも昔と違って噴煙はなく、薄い湯気が僅かに上がっているだけだった。

下山の前に三角点搜索。GPSの表示を頼りに尾根を下り、稜線東側の雪を離れて尾根直上の藪に突入する。「根曲がり木」と笹に覆われた尾根で、それだけならよかったのだが昨日の新雪が数cmあり、三角点の頭がそれなりに地面から飛び出していないと発見は困難だ。GPSの表示から10m以内をしつこく探したが痕跡も発見できず。地形図では三角点は尾根直上にあるはずで残雪には埋もれていないと思うが、新雪の下とは。残念であるが諦めよう。

帰りも同一ルートを取る。放山山頂にはスキー跡が追加。私と同時スタートのスキーヤーだろう。帰りは尾根北側の大沼を通ってみたが雪の下で水の気配はなかった。スキー場に出てからはゲレンデ下り。スキー跡は右に左に気持ちよさそうにシュプールを描いているが、この傾斜でも登山靴だとほとんど滑らないため大股で歩いた。ゲレンデ下部では登っていくハイカー1名。この時間だと放山までだろう。車に戻り車道を下っていくと、道のあちこちに山菜取りの車が。山菜シーズン真っ盛り。

Copyright(c) Yamareco. All Rights Reserved.
<http://www.yamareco.com/>